

平成 31 年 1 月 30 日

## 「世界自然遺産・知床の日」の取組について（案）

1 月 30 日

## ○「世界自然遺産・知床の日」

知床は、北半球において、流氷が接岸する南限であり、この流氷の影響を受けた海と陸の生態系の豊かなつながりが高く評価されて、世界自然遺産に登録されました。

このため、道では、知床の豊かな生態系を支える出発点として重要な意味を持つ「流氷」にちなみ、遺産登録年（平成 17 年）の知床における流氷接岸初日の 1 月 30 日を「知床の日」としました。



## 1 取組の目的

- 知床の世界自然遺産としての顕著な普遍的価値や保全と適正利用の必要性等の周知
- 「世界自然遺産・知床の日」の普及

## 2 取組の概要

## (1) 全道的な取組（道主催）

- 「しれとこ大百科～知床世界自然遺産を考える～」の開催（札幌）
- 「世界自然遺産・知床の日」パネル展の開催（札幌～道庁 1 階）
- イベントカレンダーの作成
- 様々な媒体を利用した「知床の日」の PR 等

## (2) 知床地域での取組（知床の日前後の期間に事業を検討）

- 地域との協賛事業等、地域と連携した事業展開を検討
- 交通機関等と連携した知床の日の PR を検討
- 道（振興局）の包括連携企業との協働事業を検討 等